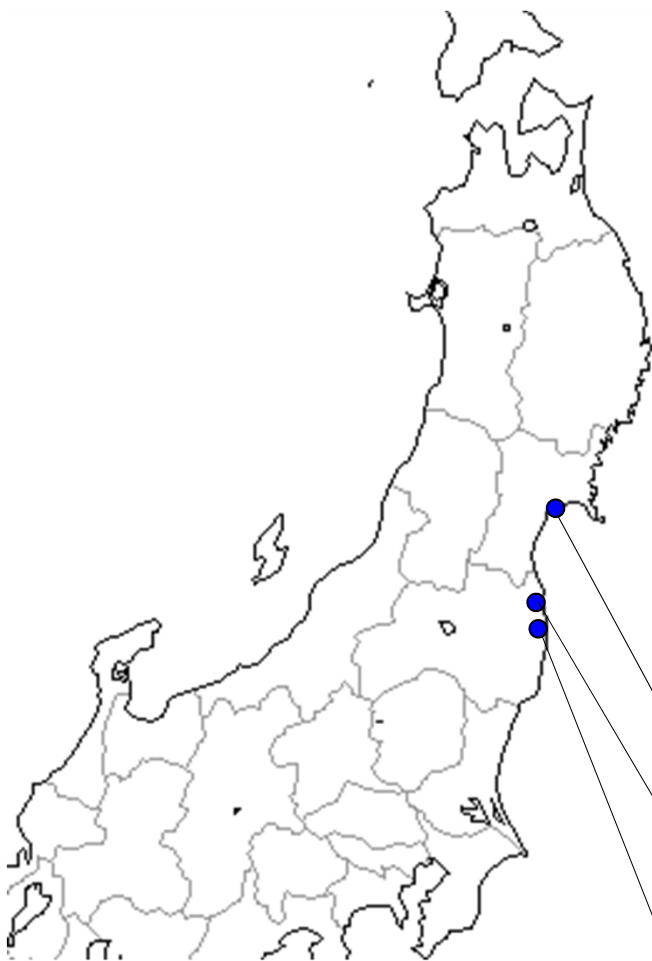
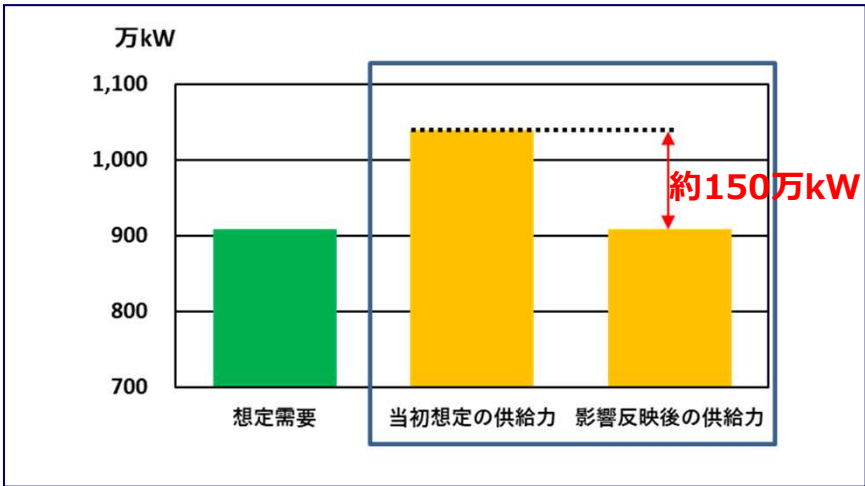


# 需給調整市場への応札状況について

2021年5月31日  
東北電力株式会社

- 2021/2/13に発生した福島県沖地震の影響により、弊社が受電する複数の電源が停止。
- 需給調整市場の取引が開始された4月以降も、約150万kW分の供給力（4月自社需要の1/6相当）を喪失しており、需給がタイトな状況であるため、需給調整市場への応札量が限定的となった。

被災火力の供給力への影響（4月）

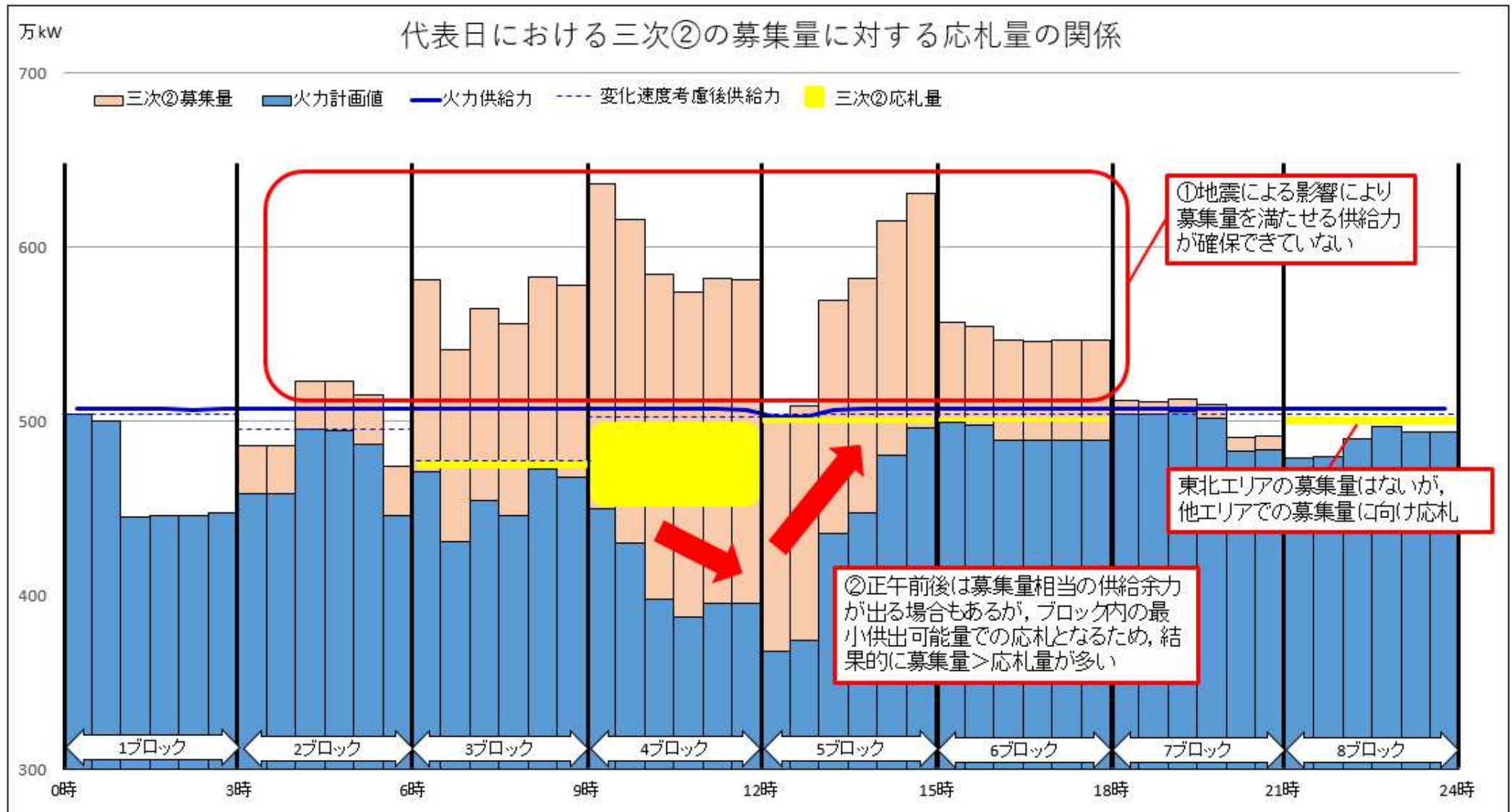


2/13福島県沖地震により停止した発電所

発電所名	号機	出力 (万kW)	停止期間					
			2月	3月	4月	5月	6月	7月
仙台火力発電所(自社・LNG)	4	46.8	2/13					7/5
新地火力発電所(他社・石炭)	1	100	2/13	3/1~7/22 定期点検				
	2	100	2/13					
原町火力発電所(自社・石炭)	1	100	2/14			5/30		
	2	100	2/14	3/29				

半量受電

- ① 地震による供給力の喪失により，三次②に応札できる供給余力が乏しい状況となっている。
- ② 昼間帯では一定の供出は可能なものの，ブロック内すべてのコマで同量を供出する必要があるので，例えば4ブロックでは9:00～9:30が供出量のリミットとなり，余力全量を供出できない状況。  
⇒②については制度面での要因（ブロックの商品形態）



③ 現状では最経済計画で応札を行っており，PVの発電量が多い日においては，メルिटオーダーの実現とPVの受入れ量確保のため，LNGユニットの短時間停止を実施しており，ユニットの停止に伴い，当該出力分応札量が少なくなっている。

